



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2008年10月10日号 No.69

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



街の声は、安心できる年金・医療・介護...
 写真は、「後期高齢者医療制度廃止を」の
 宣伝、署名(初音町交差点)。左端は萬立

九月区議会の決算審査特別委員会が終わりました

増税、医療・介護制度の改悪のなかで、区民のくらしを応援する 区政にすべきです——日本共産党は 07年決算を「認定せず」

一週間にわたった昨年度の決算審査特別委員会」が終わりました。共産党区議団の私を含めて4人の委員は、日中は議会審議、夜は連日質問準備と忙しい日々でした。委員のみなさんの頑張りに脱帽です。

昨年度は定率減税の廃止、医療・介護保険制度の改悪をつけて、区民の暮らしもたいへんな時期でした。区政では、小中学校の将来ビジョンの凍結(今年廃案に)、元町公園、新大塚公園を守る運動が繰り広げられた年でもありました。

委員会でも私も、区の非常勤職員の給料をアップさせ、官製ワーキングプアをつくるな、区立図書館の民間への委託計画は見

直しを、など何点が質問しました。

昨年「介護度認定の変更申請」が年間885件あり、うち867件が認められたといえます。その数の多さにビックリして、07年からの「新予防給付」という名のもとでの介護給付抑制が、利用者を苦しめていることが背景にあるのではと追及しました。介護度認定の方法も、審査する人員を減らして「効率化」を図っていることもわかりました。介護度を抑え給付サービスをカットした結果、昨年は介護保険会計に新たに3億2千万円を積み立てたといつから、驚きです。

声を上げる 青年 「青年集会」に4600人



若者を使い捨てるな!!

ことしも「全国青年集会2008」が10月4日、明治公園で4600人の参加で開かれました。青年の雇用の厳しさやたたかうエネルギーの大きさを感じました。この前日、「青年カー」が後樂園駅前にやってきて、私も弁士、ピラマキの一人として参加しました。それにしても目立つ宣伝カーです(右写真)。道行く人が珍しげに見ていきます。「雇用アンケート」にも多くの方が協力してくれました。



まんだち日誌

4日 区立水道保育園の運動会。会場の後楽幼稚園の園庭は保護者でいっぱい。園は久しぶりに新入保育士さんを迎えて(この間民営化の計画のなかで正規職員を採用していなかったため)保育園に活気が戻ってきたそうです。

夜、小石川2丁目マンション計画の説明会へ。

5日 教育の森公園での「消防合同点検」に参加。消防団の放水も見事でした。



8日 決算委員会も審議は最終日。ホッと一息です。翌日区内の視察があります。翌日夜、礪川公園で区民集会に参加。